



令和5年8月

「継続は力なり」

今年も、夏休み前後で学校や関係機関との連携支援会議が多く行われており、私も参加をする機会がありました。支援会議はその子の関わる機関が集まり、様々な議題で情報交換や話し合いが行われます。定期的開催がされるケースもあり、4~5年会議が続いているお子さんもいらっしゃいます。

支援会議の目的として、大きく4つあります。

- ① 支援者同士が顔の見える関係性になる⇒今後の連携がしやすくなります。
- ② それぞれの場所での子どもの姿の共有⇒同じ子もいれば、全然違う姿を見せる子も…
- ③ 子どもの強み（ストレングス）や課題となっている部分に対して、それぞれがどの様にアプローチをして行くのか⇒手段や方法を合わせる事もあれば、あえて違うやり方をする事もあります。
- ④ その子の成育歴及び将来像（5年後・10年後の姿）の確認。ある程度の方向性を合わせて行く。

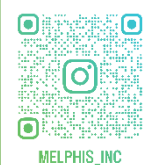
①~③まではどの支援会議でも一般的に行われていく流れになりますが、④に関しては意識して議題に組み込まないと行われな事が多いです。支援会議のほとんどが学校や相談支援専門員が主催となり進めて行くのですが、私が会議の進行をするケースや事前に打ち合わせが出来る時には、④の部分の議題に入れてもらう様にしています。

理由としては、子どもを取り巻く環境（主に人）は年度毎に変わって行くケースがほとんどです。学校や支援機関でも資料としての情報は引き継がれていても、成育歴がエピソードとして伝えられる事はなかなかありません。また、子どもの将来像に関しても同様に、支援者が変わるたびにイメージの共有が必要になってきます。

私たち福祉の役割はその部分が大きいのだと考えています。支援機関が増えたり、年度で担任の先生が変わったり、就学・進学に伴って学校が変わったりと、子どもの生活の中では様々な変化が訪れます。その時に、子どもの情報を引継ぎながら、子どもの将来像を共有する事で、支援に一貫性を持って継続させる事が大切です。

会議の1番の目的は「子どもが大人になった時にどの様な姿になってもらいたいのか」を確認・共有をする事です。その上で、その目的を達成する為に今何をするのか？その子の強みや課題や困り感（本人及び周りの人たち）にどう向き合っていくのかが、みんなで話し合われると良いなと思いつながりながら会議に臨んでいます。

児童通所課 嵯峨憲司



7月活動報告



1部 活動の様子

曜日別プログラム紹介 後編です！

対人コミュニケーションプログラム すてき女子プログラム



対人コミュニケーション: あいさつすごろくや自己紹介カードを使用して、他者への伝え方や言葉がけを学んでいきました。

すてき女子: プライベートゾーンや女の子が身に付ける衣類について、座学やゲーム形式で学んでいきました。

情報機器プログラム



パソコン検定カードを使用して、マウスやキーボードの使い方、タイピング練習を頑張りました。クリアすると合格シールがもらえます！



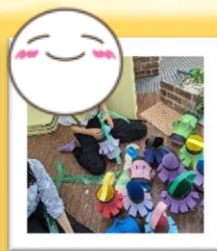
がんばりました！



2部 活動の様子

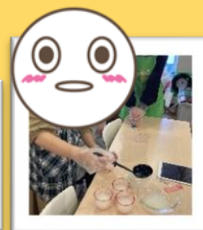
ぱれっと夏祭り準備

2部のお仕事の1つに、ぱれっとで行われる夏祭りの準備があります。夏祭りにちなんだ飾りや、ちょうちん、ぱれっとの子どもたちにあげるプレゼントなど、2部のみなさんが協力して作成していきました！また、ぱれっとへ行き、飾りつけもお手伝いしました。



土曜MJ

土曜MJは、同好会をイメージして活動しています。今回はスイーツ作りを行いました。全員でレシピを調べ、買い出しへ行き、調理をする、という流れで行いました。カルピスミカンゼリーを作り、みんなでおいしくいただきました★



お知らせ

- ・9月1日から、通常時間での開所となります(1部 15:30~18:00 2部 18:00~20:00)。
- ・新システムHUGへのログインのご協力、ありがとうございます。今後ともよろしく願いたします。HUGのログインが難しい場合には、いつでもご連絡ください。